

2025 年度自己点検・評価報告書

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）

1. 対象科目と授業概要

対象科目：情報の世界（2単位）

授業概要：デジタル社会において、数理・データサイエンス・AI を日常の生活、仕事等の場で使いこなすことができる基本的素養を身に付けること、および数理・データサイエンス・AI に関する知識・技能を扱う際に、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意思で AI の恩恵を享受し、これを説明・活用できることを目指す。

講義においては、知識定着のための小テストやスキルを修得するための実習などを用意し、学生が主体的に学べるようにする。

授業における学修の到達目標

- ・社会におけるデータ・AI の利活用に関連し、社会の動向、実際のデータ、活用領域、技術、を知る。
- ・データ・AI 利活用における留意事項（情報倫理など）について知る。
- ・データを読み、扱い、説明するというデータリテラシーを身に付ける。

2. 教育プログラムの 2025 年度履修・修得状況

①2025 年度履修状況

対象科目の 2025 年度履修状況は以下のとおりである。履修対象学生数は、前年度から 664 名が減少した。これは、前年度に修得した学生が 853 名となり、今年度の履修対象外となるのが一つの要因となる。両学科ともに前年より減少する履修率となっているため、改めて、通信教育部ポータルサイト「無限大キャンパス」において、本教育プログラムの周知、および各教育センターへの履修促進を行う必要があると考える。

学 科	履修対象学生数	履修者数（履修率）	前年度比
先端経営	200 名	70 名（35.0%）	- 62 名（-24.2%）
システム情報	1,678 名	818 名（48.7%）	-602 名（-13.7%）

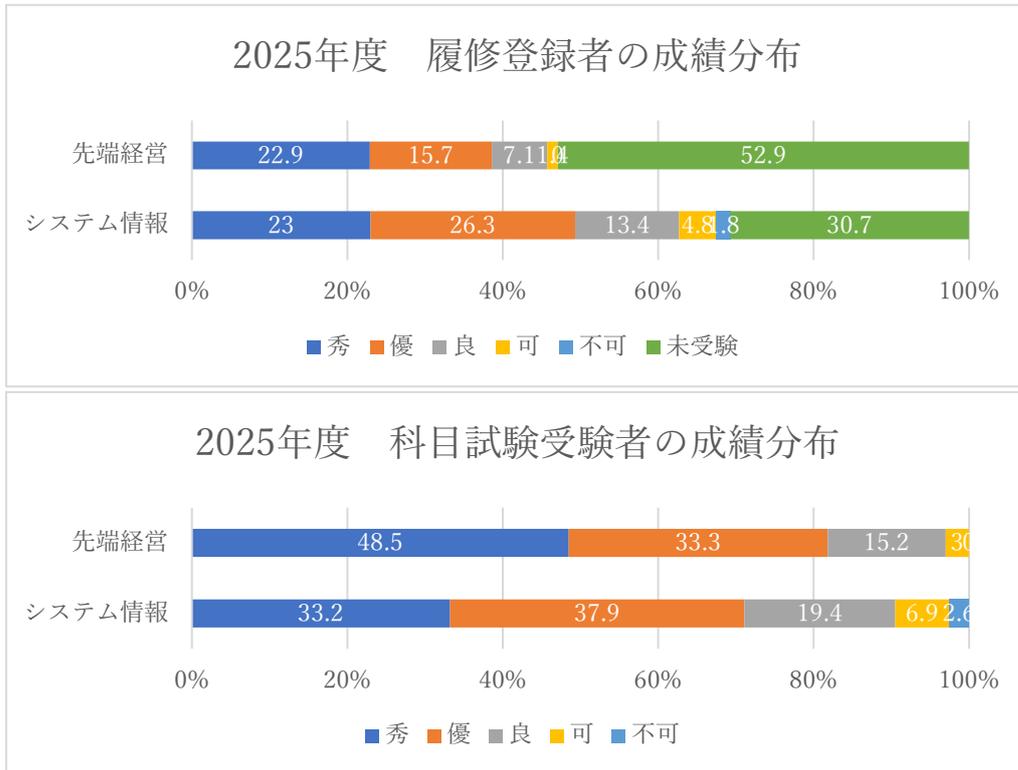
②2025 年度修得状況

両学科の総修得者数は前年度の 853 名から 585 名へと 268 名減少したが、両学科ともに前年を上回る修得率となる。科目試験受験者に対する修得者の割合は両学科併せて 97.5% の高い修得率となった。

【修得者数と修得率】

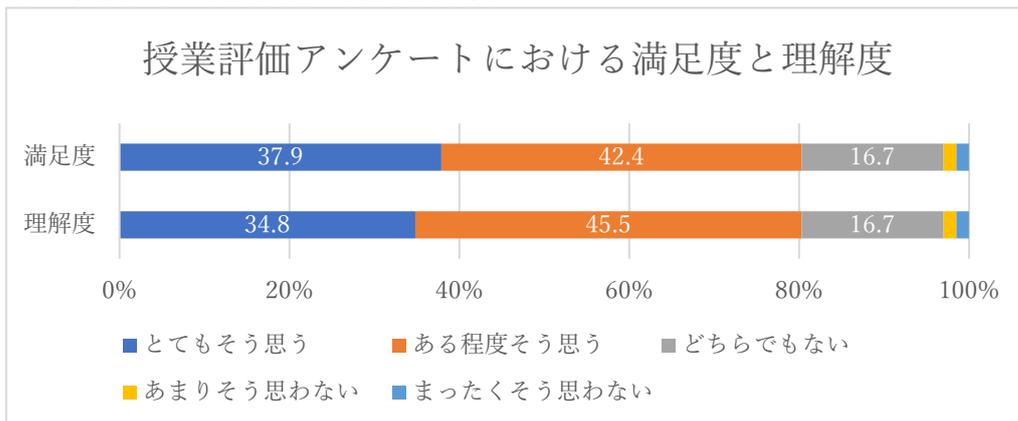
学 科	履修者数	受験者数	修得者数	修得者数／履修者数
先端経営	70 名	33 名	33 名	47.1%（前年比+8.4%）
システム情報	818 名	567 名	552 名	67.5%（前年比+11.8%）

【成績分布】



3. 授業評価アンケート

授業評価アンケートにおける科目の満足度および理解度は以下のとおりである。約80%の学生から「とてもそう思う」「ある程度そう思う」との回答を得ることができたが、「どちらでもない」と回答した学生も一定数いることが分かったため、より高い評価になるように科目内容の充実を図る。



4. 2025年度自己点検・評価

履修対象学生の履修登録が半数以下の履修率となる結果であった。対象学生に向けて学生ポータルサイト「無限大キャンパス」等において対象科目の履修促進を図っていく。

また、科目試験受験者のうち97.5%が単位修得となり、70%以上の学生が優以上の評価となったが、今後も成績上位者の割合を高めることができるよう、授業評価アンケートの内容を踏まえつつ教育効果の高い学修指導に努めることとする。

なお、履修登録者に対する科目試験未受験者の割合が高いため、学修を継続するための工夫を検討する。